

平塚フィルと共に歩んだ20年

平塚フィルハーモニー管弦楽団 鈴木陵子さん

去る6月26日、市民センターホールに満員のお客様をお迎えして、平塚フィルハーモニー管弦楽団第20回の定期演奏会が華やかなファンファーレで幕をあげました。平成3年に横浜町で小さな産声をあげてから早20年がたち、こうして多くの市民の皆様に見守られて20周年記念演奏会を開催できましたこと、団員は皆言葉にならない感謝の思いで胸を熱くし、晴れやかな舞台へと踏み出していきました。

私が結婚を機に平塚に越して来たのは30年程前のことです。新居のあった旭地区は現在の賑わいからは想像も出来ないほどのどかな田園地帯でした。見知らぬ土地での新生活でしたが、偶然、学生時代から共にオーケストラで活動していた宮川ご夫妻が徳延に居られ、お互い子育てで精一杯の時代ではありましたが、弦楽合奏の機会があると誘っていただいたりして、旭地区での演奏活動は細々と続いていました。

そんな中、娘のヴァイオリンの先生澤田文代さんを介して、平塚に市民オーケストラをつくりませんか、というお誘いがあり、何もわからないまま旭地区の仲間と旗揚げの会に参加したのが平成3年の春のことです。囲碁界の巨星木谷實九段のご長女で音楽家の木谷和子さんが、長きに亘って関わってこられた「平塚吹奏楽愛好会」の活動を休止し、そこを母体にして、これまで周りの市町村にはあっても平塚にはなかった市民オーケストラの結成に向けてご尽力されたことを知ったのは、ずっと後のことでした。



平塚フィルのフルートメンバー（右から2番目が木谷元代表）

鈴木陵子さんプロフィール

現在、大磯町在住。平塚フィルハーモニー管弦楽団結成時からのメンバーで、担当楽器はヴァイオリン。楽団の運営委員も務めています。職業は学校司書をしています。



鈴木陵子さん（中央）

初めての練習に参加はしたものの、弦楽器と管楽器をあわせても20名に満たない「ナイナイ尽くし」の前途多難な船出で、いつまで続くことや、というのがその時の正直な感想でした。その「平塚室内合奏団」は、人を集め、楽器を揃え、不安材料だらけの中で、翌年に第一回目の定期演奏会を開催したことが結果的には功を奏し、団員数は一挙に二倍になり、新進気鋭の城谷氏を常任指揮者としてお迎えすることもできました。第3回の定期演奏会を機に現在の「平塚フィルハーモニー管弦楽団」に改名して、ようやく名実ともに市民オーケストラへの道を一步、歩み始めたのでした。

平成5年に有志の方々のお骨折りで「賛助会」が設立されたほか、本当に多くの皆様に支えられて、平塚フィルはこれまでこの平塚の地で、幸福な「成長期」を過ごして参りました。あの不安な顔が並んだ初めての練習を知る者は団員の中でもわずか数名になってしまい、若い熱い力が今の平塚フィルを引っ張ってくれています。今年の9月4日には恒例となった「はじめてのオーケストラ」を、また12月には「第九」が控えています。平塚に市民オーケストラを、という木谷元代表の20年に亘る努力は着実に実を結びつつあります。いつの日か市民が真に誇れるオーケストラとなれるよう、心新たに次の一步を踏み出していきたいと思いを。

賛助会について

平塚フィルハーモニー管弦楽団はアマチュア音楽愛好家による市民オーケストラです。当会は、このオーケストラの活動を助成することを目的として平成5年1月に発足しました。音楽は万国共通の「愛」の言葉です。その担い手である平塚フィルハーモニー管弦楽団が健やかに育っていくためには、是非とも皆様のお力が必要です。音楽を愛する皆様のご入会を心よりお待ちしております。

●お問い合わせ 賛助会事務局 鈴木典子 電話0463-31-5268